

各位

会 社 名 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション
代 表 者 取締役社長 依田 誠
(コード番号 6674 東証第一部・大証第一部)
問合せ先 広報室長 西田 啓
(TEL.075-312-1214)

株式会社 リチウムエナジー ジャパンを設立
～ GSユアサ、三菱商事、三菱自動車による大型リチウムイオン電池の合併会社 ～

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション(社長:依田 誠、本社:京都市南区。以下、GSユアサ)、三菱商事株式会社(社長:小島 順彦、本社:東京都千代田区)、三菱自動車工業株式会社(社長:益子 修、本社:東京都港区)の3社は、2007年5月より大容量かつ高性能なリチウムイオン電池の合併新会社の設立に向けて具体的な協議を重ね、2007年12月12日に『株式会社 リチウムエナジー ジャパン』を設立いたしました。

昨今、石油に代表される化石燃料の枯渇問題や、温室効果ガス増大による地球温暖化問題などに対応するために、代替エネルギー利用の促進やエネルギー効率のさらなる向上について、地球規模での対策が求められています。特に、エネルギー資源を代替していくためには、化石燃料以外のエネルギー源を動力や電力に変換して利用する技術が必要です。大型リチウムイオン電池は、これらの技術を実用化するための不可欠なデバイスとして、今後幅広く普及するものと見られております。

1990年代後半より実用化が始まった大型リチウムイオン電池は、その用途を徐々に拡大し、市場での経験と実績を積み重ねてまいりました。今後、電気自動車を含む自動車分野および産業分野に幅広く適用するためには、大型リチウムイオン電池のさらなる性能向上、品質の安定化に加え、量産効果による大幅なコストダウンの実現が必要となってきております。

今回設立した新会社の『リチウムエナジー ジャパン』は、大型リチウムイオン電池の高い技術を保有し、その用途拡大を目指すGSユアサ、電池事業への参入に加え、その周辺事業の創出を目指す三菱商事、および究極の環境対応車である電気自動車の普及を目指す三菱自動車の3社が共同出資して設立いたします。資源、材料、開発、製造、販売、用途開拓といった垂直方向のバリューチェーンの統合力を生かし、強力なシナジー効果を発揮してまいります。

現状の大型リチウムイオン電池が持つ潜在能力は、すでに幅広い用途で実証されつつあります。来たるべき環境対応社会、すなわち「新しい社会」の実現のためには、この技術の汎用用途での普及・拡大がカギであると言っても過言ではありません。この「新しい社会」の実現に向けた第一歩として、『リチウムエナジー ジャパン』は世界に先駆けて大型リチウムイオン電池の量産立ち上げに着手いたします。『リチウムエナジー ジャパン』は、大型リチウムイオン電池の開発・製造・販売事業で電気自動車、プラグインハイブリッド車、あるいはエネルギー回生システムなどの環境対応技術が社会に浸透することを自ら実証し、加速すること、そして環境に対応した「新しい社会」の実現を目指してまいります。

【株式会社 リチウムエナジー ジャパンの概要】

1. 社名 株式会社 リチウムエナジー ジャパン
(英文名:Lithium Energy Japan)
2. 設立 2007年12月12日
3. 本社所在地 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
4. 出資金 設立時 5億円 2008年4月(予定)の増資によって合計40億円

5. 出資比率 株式会社 ジーエス・ユアサ パワーサプライ 51%
(* 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーションの100%出資子会社)
三菱商事株式会社 34%
三菱自動車工業株式会社 15%
6. 事業内容 大型リチウムイオン電池の開発・製造・販売
7. 生産規模 2009年度 年産20万個
8. 役員 代表取締役社長 小野 勝行
(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション 常務取締役)
取締役 畑中 照弘
(株)ジーエス・ユアサ パワーサプライ インダストリー事業本部
大型リチウムイオン電池生産本部 新規事業推進室長)
取締役 北村 雅紀
(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション 経営戦略統括部 部長)
取締役 今川 裕
(三菱商事(株) 理事 イノベーション事業グループ イノベー
ションセンター 自動車関連事業推進室長)
取締役 加藤 寿永
(三菱商事(株) 機械グループ 自動車事業本部 自動車国内
ユニットマネージャー)
取締役 橋本 徹
(三菱自動車工業(株) 技術開発本部副本部長 兼 MiEVプロ
ダクトエグゼクティブ)
監査役 楠山 俊輔
(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション 常勤監査役)
監査役 吉澤 義仁
(三菱商事(株) イノベーション事業グループコントローラーオフィス)
9. URL <http://LithiumEnergy.jp>

以上